

峰山学園保幼小中一貫教育だより

【 令和6年1月 地域版 】

発行：峰山学園事務局
連絡先：0772-62-0359
FAX：0772-62-7987
Mail：mineyama-jhs
@Kyoto-be.ne.jp

峰山学園教育目標：自己肯定感を持ち、自分の将来を展望し、共に学ぶ子の育成
目指す子ども像：◇意欲を持って自ら学ぶ子 ◇思いやりのある子ども ◇進んで心と体を鍛える子ども



1年のまとめの学期 3学期がスタートしました



令和6年の始まりと共に3学期が始まりました。峰山学園では「他者と関わりながら深く学び、社会的に自立して主体的に生き抜くための学力を育てる」ことを指導の重点に掲げています。学力を自立する力と捉え、そのような学力をつける手立てとして他者と関わりながら遊び学ぶことを大切にしています。

こども園、小中学校の10年間を通して、一貫した指導の下に力を育くもうと歩んでいます。そんな取組の集大成ともいえる3学期となりました。とりわけ中学3年生は希望進路の実現に向けて緊張感をもって日々の生活を過ごしています。各園、小中学校の1年のまとめの学期のスタートに当たり、保護者・地域の皆様のみますますのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ゆうかり子ども園



1月10日に「新年おめでとう会」を行いました。ゆうかり神社の前で各クラスの「1年の抱負」を発表しその後は「お正月クイズ大会」をしました。

峰山小学校



12月15日に和琴鑑賞の授業を4、6年生が受け、6年生は琴の演奏を体験。琴は竜の体を表した楽器であることも教わりました。

峰山中学校

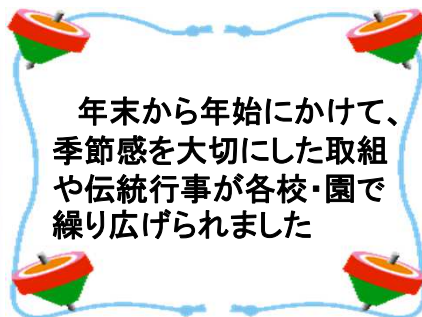


2学期末から始まっている3年生が校長先生と給食を食べる取組。卒業を前に中学校生活を振り返りながら楽しい時間を過ごしています。

峰山こども園



1月9日に「絵書初め」をしました。辰年にちなみ、竜の絵を用紙いっぱい描きました。



年末から年始にかけて、季節感を大切にした取組や伝統行事が各校・園で繰り広げられました



1月9日 峰山中学校3学期の始業式。3年生はいよいよ義務教育修了の学期となります。

長岡小学校



1月18日に授業参観後に大縄発表会が行われました。12月から各チームで決めた目標のもとに練習を重ねてきた成果を披露しました。

いさなご小学校



1月12日に地域の方の協力のもとに「どんど焼き」が行われました。学年目標を発表し文字の上達を願いました。

しんざん小学校



1月9日に書初め大会が行われました。琴の生演奏を聴きながら心を込めて書きました。

6年生とその保護者を対象に「入学説明会」を行いました

12月4・5日の2日間に分け、令和6年度中学校入学児童を対象に「入学説明会」を行いました。峰山中学校の学校生活についての話や聞いたりDVDを視聴したりしながら中学校の様子を把握しました。これまで、部活動体験や授業体験も行い、中学校への不安も和らいできている6年生です。中学校に入学する前に、残された小学校生活をしっかりと学校のリーダーとしてやり切ることが大きな力となることや、自分のことは自分でできる力を付けて中学校に入学することが大事である点が伝えられました。入学に向けての心の準備や自主性や責任感が一層伸長していくことに繋がる機会となりました。その後制服の採寸等も行われ中学校入学への期待が一層高まりました。

校舎案内



学校説明



制服等の採寸



2月には各校の6年生の様子を中学校教員が参観に行きます。小学校から中学校への段差解消に向けた接続を目指し、丁寧な引継ぎを行います。同様に、こども園から小学校への引継ぎも丁寧に行っています。年長児が入学する学校に体験入学で訪れ、学校の雰囲気にも慣れる機会を設けています。環境が大きく変わる入学時の不安解消に向けた学園としての取組や連携を大切にしています。

今年度最後の学園担任会・部会を行いました

年間4回の学園担任会を計画し、1月18日が今年度最後の担任会となりました。担任会では実態や実践交流をはじめ、研究を深めたい教材についての交流を行ってきました。それら活動のまとめを行いました。また、担任会だけでなく、各領域部会も行われ今年度のまとめを行いました。1年間の歩みを振り返り、成果と課題を次年度へ引き継いでいきます。

共同学校事務室



領域部会の一部を紹介しています



養護部会

年間のまとめだけでなく学校事故の事例研修も行いました。センター研修で学んだ内容を復講習し、学校としての対応や安心安全に繋がる学校環境についての見識を広げました。

1月18日の会議では峰中の栄養教諭も加わり、各校の食物アレルギーの状況や除去食の対応、実態について交流しました。年間を通じて各校の執務状況や健康安全に関わる内容等を交流しています。

「子ども達に夢を！」学園内の小学校にも大谷翔平選手からのグローブが届きました



1月17日に京丹後市内の各小学校に大谷選手からのサイン入りのグローブが届けられました。大谷選手からのメッセージには「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを願っています。」と記されています。自分の夢に向かって目標を設定しながら絶ゆまぬ努力で活躍を続ける大谷選手の生き様からは多くのことを学ぶことができます。

峰山学園は「自己肯定感を持ち、自分の将来を展望し、共に学ぶ子の育成」を教育目標に掲げています。自分の夢や目標、将来の展望に向けて力強く歩む子ども達の姿を願って実践を続けています。夢や希望への思いが込められたグローブを見て、手にして、学園の子ども達がたくましく成長していつくれることを峰山学園の教職員一同で願っています。希望進路の実現、社会的自立を目指して！！